

## 平成26年度 市民と教育委員との意見交換会 議事要旨

(学校体感デーのプログラム内で実施)

### 1 日 時

平成26年11月12日(水) 15:00～15:50

### 2 会 場

千葉市立寒川小学校(千葉市中央区寒川町1-205)

### 3 出席者

- ・市民参加者 30人
- ・教育委員参加者 6人

### 4 意見交換テーマ

「地域・家庭とつながる学校教育」

### 5 会議経過

(1) 開会

(2) 教育委員挨拶

(3) 意見概要

**参 加 者** あまり小中学校での国際交流の話を聞きませんが、国際交流の取組みは現在どのように進めていますか。

志村教育長 国際化は確実に進んでいます。外国籍の市民も多くなっているため、以前より自然な形で国際交流ができています。小学校では「総合的な学習の時間」で国際理解教育に取り組んでおり、5・6年生では外国人講師による英語教育を行っています。以前に比べると各学校で行われるようになっていきます。

明石委員 千葉国際駅伝では、あやめ台小学校で各国の応援旗を手作りしたり、市立稲毛高校の国際科では留学できる仕組みがあります。外国籍の市民の方が増えているので、国際交流教育は非常に大事なことだと思っています。

**参 加 者** ある校長から地域でボランティアをしてほしいと言われたので、パソコン操作のボランティアを希望したところ、校長からパソコンは子どもたちに触らせないと聞きました。学校ではパソコンを触らせないのですか。

志村教育長 IT教育については、すべての学校にPCルームを設置しているほか、各教室には電子黒板などがあり、また、新宿小学校ではタブレット端末による学習をしています。そのような中で、ボランティアがいれば学校は助かります。ボランティアについては、地域とのつながりを大事にした学校を目指しています。校長には改めて伝えておきます。

**参加者** 千葉市の小学校には部活がなく、部活がある他市と比べるとレベル差が出ているので導入してほしい。

内山委員 小学校ではクラブ活動があり、指導に当たる先生方は、専門ではないが非常に努力していることを知っていただきたい。

和田委員長 千葉市では、陸上大会・球技大会や音楽発表会を実施し、すべての子どもたちに運動や音楽を楽しむ機会を持ってもらっています。

**参加者** 今までの千葉市教育委員会と違って、開かれた形になっていると思います。教育委員会には情報公開が求められています。今回のイベントのような啓発活動を続けてもらえると、より開かれた教育委員会になると思います。

明石委員 教育委員会会議の教科書採択では票が割れるなど、千葉市の教育委員はフェアで熱心です。また、千葉市は、子どもの読書量は全国の倍であり、学力テストの結果も高いです。さらに、未来の科学者育成プログラムなど、生涯学習と学校教育がうまくいっています。これが千葉市の自慢です。しかし、学校支援ボランティアが弱いので、より力を借りていきたいと思います。

**参加者** 読書量の件については、調査があるということで子どもたちも努力していることを知っていただきたいです。

中野委員 高齢化社会になり、認知症の方が増えています。認知症の正しい理解のために、保護者から学校へ認知症サポーター制度の講義を申し込んでいただきたいです。また、地域のまとまりに関しては、様々な課題があると思いますが、まずは大人が協力する姿勢をみせていくと、うまくいくのではないかと考えています。

**参加者** 本イベントを通して、給食、授業の方法・内容・機材など、子どもの教育環境が昔よりもずっと良くなっていると感じましたが、子ども自身が昔と変わってきたと思うことはありますか。

志村教育長 子どもは基本的には変わっていないと思いますが、社会が便利になった分、コミュニケーションの取り方などは親が教える必要がでてきたと思います。

明石委員 志村教育長と同じ認識です。子守唄の変化に見られるように、時代が変わっています。時代が変わったので、ストレスを抱える子どもが出ています。また、今の子どもは昔の子どもに比べ、1日の歩数が1万歩少なく、体力が下がっています。

**参加者** 授業の形式を、教えるものから考えさせるものへと変えてきたことによる、子どもたちの変化があれば、教えてください。

志村教育長 文科省の学力調査の結果を見ると、千葉市の子ども達は思考力や判断力を必要とするB問題の成績が良いです。これは、普段の授業において、考えたり判断したりする時間を多くとるようにしている結果かもしれません。また、1学級あたりの児童数が少なくなってきたことで、考える時間が増えています。ただし、いろいろな部分で新しい領域も学校で教えなくてはならないため、子どもたちは忙しく感じているかもしれません。

参加者 今回のイベントは初の試みということですが、1回限りにしないで続けてほしいです。自由な意見交換会は、開かれた形で良いことだと思います。また、私は生涯学習センターでボランティア登録をしていますが、4,500人の教員だけでは賄えないと思うので、学校や教育委員会も地域の人材を活用した方が良いと思います。

参加者 今回、保育所に掲示してあったポスターを見て参加しました。保護者としては、子どもが小学校や中学校に上がる際の入学説明会などで、今回のような意見交換会があると良いと感じました。

小西委員 私は、教育委員になってはじめて、今の学校の様子や先生方の頑張りを知ることができました。つまり、ほとんどの保護者にはそれらを知ってもらう機会がないということなので、教育委員会としてはそのような広報も力を入れていかなければいけないと思います。

明石委員 入学説明会などで意見交換会をやることは大賛成です。市民と教育委員がフラットな関係で情報交換会ができれば良いと思います。

志村教育長 これからは、定期的にいろいろな場所でいろいろな方々と教育を考える機会を設けることをやっていきたいと考えています。

和田委員長 教育委員会には、地域と学校、地域と家庭をつなげるようなシステムを作ることが求められていると思います。また、家庭の教育力が落ちているということも耳にします。子育て世代の方のみでなく、子育てが終えられた方々も近所の子どもたちを見かけたら、褒めたり、叱ったりと声をかけてほしいです。それも地域力であり、今、大きな意味では家庭力にもつながるのではないかと思います。

これからまたこういったイベントも開催していきたいと思いますので、皆さんにも、宣伝していただきたいです。

#### (4) 閉会